

令和4年度 農山漁村振興交付金(山村活性化対策)
事業実施主体 評価結果

1. 事業評価の実施

令和4年度に実施された農山漁村振興交付金(山村活性化対策)の事業について、「農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領」(平成30年3月28日付け29農振第2261号農林水産省農村振興局長通知)の第9の1の(1)の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 評価結果

都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評価コメント
			R3	R4	R5		
島根県	雲南市	雲南市農林産物販売促進協議会	●	●	○	A	実施された事業の内容は、おおむね目標が達成されたと評価する。

(注1)「事業実施段階」の凡例： ○・・交付対象年度(計画) ●・・交付対象年度(実施済) □・・目標年度(計画) ■・・目標年度(実施済)

(注2)「評価」の区分： A・・優良 B・・良好 C・・低調

3. 第三者の意見聴取

農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領の第9の1の(1)の規定に基づき、第三者である小林健治氏から評価に当たり意見の聴取を行った。第三者及び意見聴取の概要は以下のとおり。

【第三者】

小林 健治

【意見聴取の概要】

生産資材の価格高騰やコロナ感染症の影響で、販売促進の取組みを行うには厳しい環境であったが、産直事業の推進や木材利用に精力的に取り組む、前年度を上回る販売額であった。地域の食材を活用した商品の開発にも取り組んでおり、目標の達成に必要な取組みが行われていると評価する。

農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 評価シート

1. 事業実施主体(評価者)	雲南市農林産物販売促進協議会	事業開始年度	目標年度	事業実施期間(令和4年度)				
2. 取組振興山村名	大東町・木次町・三刀屋町・吉田町・掛合町	令和3年度	令和5年度	令和4年8月2日～令和5年3月31日				
3. 事業費(うち国費)	8,998,910円(8,998,910円)							
4. 第三者氏名	小林 健治	教育機関関係者	産業界関係者	マスコミ関係者	農林水産業関係者	消費者	その他	
5. 事業評価								
総合評価								
○ 取組の実施状況や目標の達成に必要な取組が十分に行われたか。 (①から④までを踏まえた総合的な評価)		(評価理由及び助言等のコメント) 生産資材の価格高騰やコロナ感染症の影響で、販売促進の取組を行うには厳しい環境であったが、産直事業の推進や木材利用に精力的に取組み、前年度を上回る販売額であった。地域の食材を活用した商品の開発にも取り組んでおり、目標の達成に必要な取組みが行われていると評価する。						
評価 (該当に○)	(A) (B) (C)重点指導対象							
① 取組状況								
○ 目標の達成に資するための取組が行われたか。		(評価理由及び助言等のコメント) 米価の大きな回復がない中で、ブランド米の認知度向上や生産量向上に取組み、広島県内での販売拡大につながった。産直事業については、生産者への支援に精力的に取組み、6年振りに前年度を上回る販売実績だった。市産材の利用拡大については、トレーラーハウスや雑貨などの新商品を開発し、展示会に出展するなど販売に向けた活動を行っている。以上のことから目標の達成に資する取組みは行われていると評価する。						
評価 (該当に○)	(A) (B) (C)重点指導対象							
② 事業実績								
○ 事業実施計画の目標は達成できているか。		(評価理由及び助言等のコメント) 販売金額はブランド米、産直事業とも前年度を上回り、新たに木材商品の販売も行われたブランド米の販売店舗数は昨年度より増えており、認知度向上と販売拡大が図られている。木材商品開発は継続して行われており、令和5年度においても新たな商品開発が期待される。以上のことから目標は達成されていると評価する。						
評価 (該当に○)	(A) (B) (C)重点指導対象							
③ 実施体制								
○ 事業実施主体の取組体制は十分に機能したか。		(評価理由及び助言等のコメント) 協議会の構成員が連携して事業に取り組まれており、十分に機能していると評価する。						
評価 (該当に○)	(A) (B) (C)							
④ その他								
特になし								

※複数名の学識経験者等第三者から意見聴取している場合、第三者間で調整した意見結果を記載する。